

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ライト設計

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、定例朝礼で、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。										8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社内掲示板でコンプライアンスの重要性を全社員に向けて発信している。																				16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為を含む行動規範について、社内研修を行っている。													10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当役員2名と各部署より1名ずつ計4名の担当者をSDGs推進委員に任命している。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・図面等機密情報は法人で管理している端末のみで閲覧可能としている。 ・退職者とは「秘密保持に関する誓約書」を交わしている。									8.2	8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報に関する基本方針」を定めて公表し、体制を整備している。同時に社内研修を行い、情報管理ルールを周知徹底している。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・協力会社と研究会を通して、情報共有を行い双方向コミュニケーションを図っている。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5						8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●														9			11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者候補を立てて、事業承継に取り組んでいる。管理建築士は後継者への引き継ぎを完了している。											8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5					8					12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、昇進、教育、福利厚生などあらゆる雇用の条件で、研修の実施、相談窓口の設置を行い、差別をしない体制を構築している。				4.3	5.1				8.5			10.2						16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、研修の実施、相談窓口の設置を行っている。			3						8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・パートタイム労働法、労働契約法の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5				8.5			10.2	10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有し、クラウド勤怠ツールを使った労働時間管理を行っている。休暇の推奨、記念日休暇の新設、育児短時間勤務、テレワーク等多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。			3		5.5				8.5	8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職務や役割に応じた研修体系を整備し、実施している。(新入社員、ストレスマネジメント、コーチング、モチベーションアップセミナー、法務・労務関係、管理職等)				4	5.5				8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・協会けんぽ熊本支部に「ヘルスター健康宣言」を行い、社内で健康づくり目標をたて意識改革と健康増進を行っている。			3						8												17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・ベトナム人技術者を積極的に雇用している。定期的な面談を実施しストレスを軽減するよう対策を行っている。				4.4	5.1	5.5			8.5			10.2	10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・グループウェア、チャットツール、クラウドでのデータ管理などを導入し、テレワークや社内でのフリーアドレスに対応している。			3						8	9.1			11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1			11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9				12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ライト設計

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・環境マネジメントシステムの認証を受けた産業廃棄物処理業者と契約し、廃棄物の種類・量などを把握し、リスト化している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車をハイブリッドカーへの移行を進めている。今現在で10台の内6台がハイブリッドカーである。 ・月ごとの電気使用量を表に表し、見える化をすることで社員の意識を高め、温室効果ガス排出の抑制を意識付けしている。 ・社用車をハイブリッドカーへの移行を進めている。今現在で10台の内6台がハイブリッドカーである。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車をハイブリッドカーへの移行を進めている。今現在で10台の内6台がハイブリッドカーである。 ・月ごとの電気使用量を表に表し、見える化をすることで社員の意識を高め、温室効果ガス排出の抑制を意識付けしている。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した材(強度が高い材料、リサイクル材料、自然素材等)を選定、使用しサービスを提供している。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内での分別回収を徹底している。 ・グループウェアの充実、1人1台のipad貸与を行ったことで、紙の使用を減らしている。(前年度比50パーセント)										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・トイレの排水を節水モードに設定し、節水意識を高めている。 ・雨水の地下浸透を心がけた設計を提案している。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境適合設計(省エネルギー化、長寿命化、安全性等)に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・積極的に緑地を組み込む設計を提案している。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

株式会社ライト設計

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・想定されるリスクの洗い出しと対策、品質を保証する仕組み、顧客からの声を社内共有するための基本方針・体制・ルールの策定と研修の実施などを行っている。			3.9						9		12.4																
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ユニバーサルデザインを考慮した建築設計を提案している。									9.1	10	11.7														17		
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・県産材を使った設計を積極的に提案している。			2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15									17			
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15												
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●																												
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●											8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15								17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地元町内会行事、地元学校部活動への寄付等を行っている。 ・災害等への寄付、被災地への応急危険度判定士の派遣を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・熊本市ハザードマップ及び進行中案件現場の自治体のハザードマップのwebsiteリンクをクラウドサービスのアプリに貼り、いつでも確認や対応ができるようにしている。				4							11.5		13.1			16											
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●				1.5		3	4						10.2	11.5		13.1							16	17				
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1													
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内SDGsに関する研修会を実施している。 ・社員向けにSDGs通信を発行し、周知を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・通年でインターンシップの受入れが可能な状況にしている。 ・毎年、2大学・1専修学校・1高等学校2学科のインターンシップ受入れを実施している。				4					8.6		10.2													17			
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内工業高校卒業生の新規採用活動を行っている。 ・小、中、高、大学等の部活動や文化祭などに寄付・協賛を行っている。							4.4			8.5 8.6														17			
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					2			4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15							17			

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。